



# ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) あなたを活かすダイバーシティ研究環境の整備

令和4年度事業報告書

# Contents

1

北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

ごあいさつ	2
和田 隆志 金沢大学長	2
長谷部 徳子 金沢大学学長補佐(ダイバーシティ推進担当) 金沢大学ダイバーシティ推進機構男女共同参画推進ユニット長 ダイバーシティ研究環境推進委員会委員長	2
事業概要	3
主な取組	4
実施体制	4

2

女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

1. 北陸地域におけるダイバーシティ研究環境整備の牽引	6
Hokuriku Women Researchers' Network (HWRN / ホウルネット) の継続と発展	6
ダイバーシティ研究環境推進委員会の開催	6
ダイバーシティ研究環境推進シンポジウム	6
ワークショップ	8
研究パートナー制度	9
女性研究者等研究支援制度	9
出産・育児支援	10
金沢大学人材バンク	11
研究写真展 Beauty in Science	11

3

女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり

2. 女性研究者の研究力向上とそれを通じたリーダー育成	12
金沢大学ダイバーシティ顕彰	12
産学連携講座	13
共同研究支援	13
女性研究者を対象としたリーダー育成支援	13
3. 女性研究者の上位職登用促進のための基盤づくり	14
ダイバーシティ管理職研修・研究者対象セミナー	14
教員人事への女性委員の参画	14
管理職登用	14

4

女性研究者  
採用比率の向上

4. 女性研究者採用比率の向上	15
部局別採用目標の策定と更新	15
女性限定公募	15
クロスアポイントメント制度	15

各機関におけるその他の取組	16
女子中高生への理系進路選択啓発(金沢大学)	16
金沢大学ダイバーシティ推進機構次世代育成部門キックオフセミナー	16
「理工系に女性が少ないのはなぜなのか」	
金沢大学女性研究者支援「はあざみ基金」	16
女性教員・女子学生の増加(富山県立大学)	17
プラチナくるみん(YKK株式会社)	17

各機関における  
その他の取組

# ごあいさつ



金沢大学長  
**和田 隆志**

金沢大学は「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に立脚し、「金沢大学未来ビジョン『志』」を掲げ「オール金沢大学で『未来知』により社会に貢献する」ことを目指しています。その実現には、学生・教職員に加え、卒業生・修了生、地域住民や産業界などの多くのステークホルダーの皆様とともに取り組むことが重要であると考えています。年齢、性別、国籍など属性が異なる多様な人材が、お互いを尊重し合い、一人ひとりが個性と能力を十分に発揮できる環境が必要です。

本学では、ダイバーシティ環境の整備推進に全学を挙げて取り組んでおります。文部科学省の科学技術人材育成費補助事業の採択も得て、さらに活動を大きく展開させています。体制面では、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを発展的に改組し、令和4年4月にダイバーシティ推進機構を設置いたしました。大きな理念・目標に向かい、女性研究者等の支援、外国人研究者・留学生の支援、LGBTQ+等の多様な背景や障がいをもつ方々への支援に力を注ぎ、個性と能力を十分に発揮できる環境構築を進めています。また、関係機関等との協力関係を深めながら、広域の連携事業も実施しております。

私が強い信念とするのは、「人は宝、財産」です。誰もが自分らしく活躍できる環境づくりに、引き続き尽力してまいります。そして、成果を地域全体に波及させ、国内外に発信してまいります。本報告書が本学の活動へのご理解を深める一助となることを祈念するとともに、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



金沢大学学長補佐（ダイバーシティ推進担当）  
金沢大学ダイバーシティ推進機構男女共同参画推進ユニット長  
ダイバーシティ研究環境推進委員会委員長

## 長谷部 徳子

金沢大学では、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」にて、それぞれ特徴的な強みを持つ富山県立大学とYKK株式会社と連携して、ダイバーシティ研究環境の実現を目指す取組を行っています。補助金の措置が終わった後も各機関独自予算を確保し全ての取組を継続することができました。昨年度は「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択していただきました。また今年度4月には実施組織である金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリーをダイバーシティ推進機構に改組しました。今年度は牽引型事業実施最終年度となりましたが、より包括的なダイバーシティ教育研究環境の実現に向けてより一層取り組んでまいります。

牽引型事業で実施した女性研究者のリーダー育成、上位職登用推進はまだ道半ばです。女性研究者の割合も決して満足のいく値とはなっていません。三機関を核とした北陸における連携体制を今後も維持し、継続して取り組みを進めるべきと考えています。

今後とも本事業の取組にご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

1  
北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

2  
女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

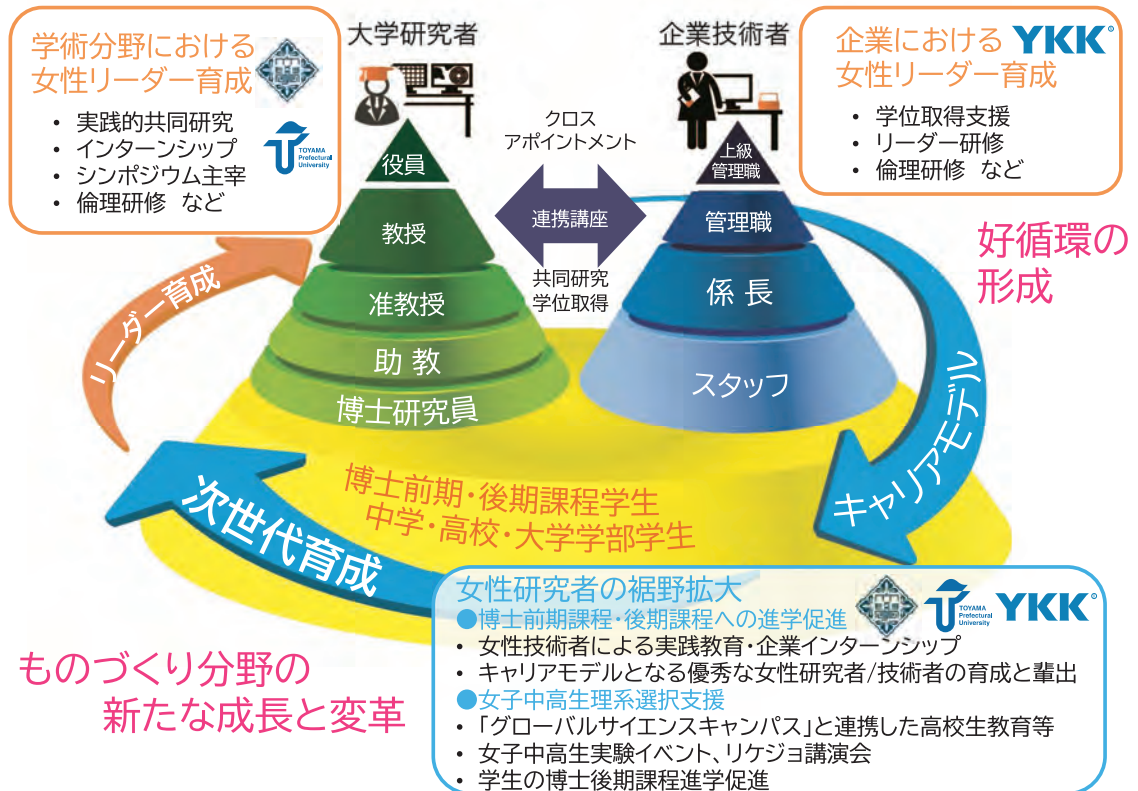
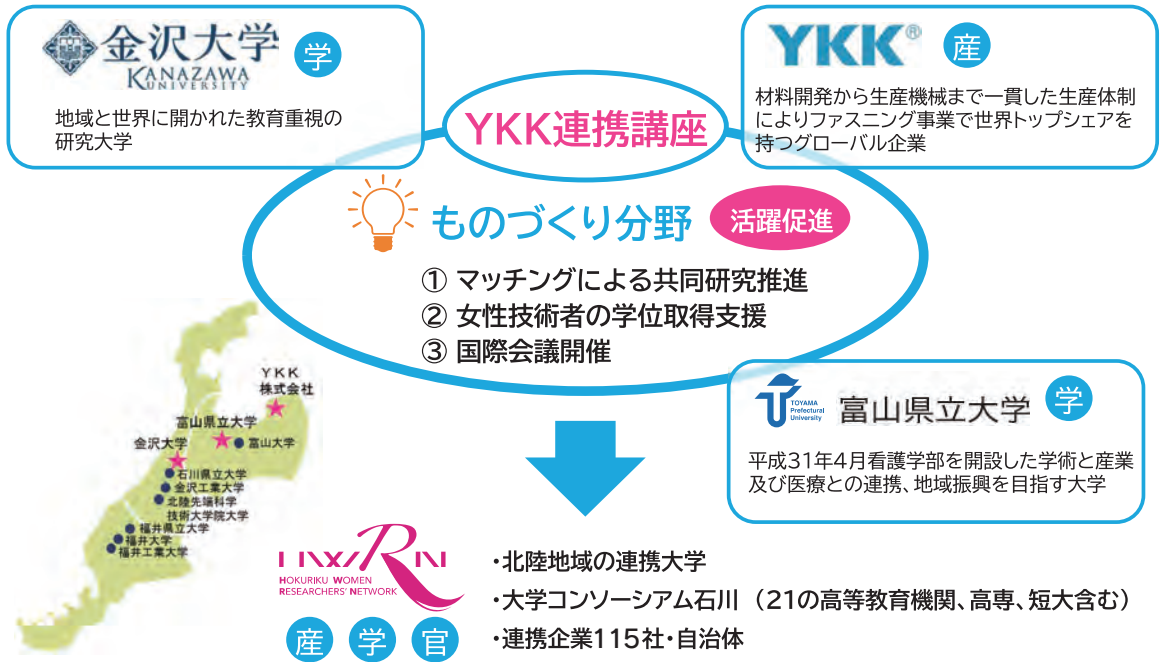
3  
女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり

4  
女性研究者  
採用比率の向上

各機関における  
その他の取組

# 事業概要

金沢大学、富山県立大学、YKK株式会社が連携し、研究力向上による女性研究者の上位職への登用促進や、女子学生の大学院への進学促進など女性人材育成の好循環を形成する取組を行うことで、ダイバーシティ研究環境の実現を目指します。



# 主な取組

## 1. 北陸地域におけるダイバーシティ研究環境整備の牽引

- Hokuriku Women Researchers' Networkの継続
- ダイバーシティ研究環境推進委員会の開催
- シンポジウム及びワークショップの開催
- Webによる情報発信
- 女性研究者等研究支援制度
- 研究パートナー制度
- 人材バンクの普及
- 研究写真展などによる普及啓発

## 2. 女性研究者の研究力向上とそれを通じたリーダー育成

- 産学連携講座を核とした研究力向上
- 共同研究支援
- 女性研究者賞
- 女性研究者の企業などにおけるインターンシップ制度
- 研修を利用した研究能力・マネジメント能力育成
- 国際シンポジウム開催支援

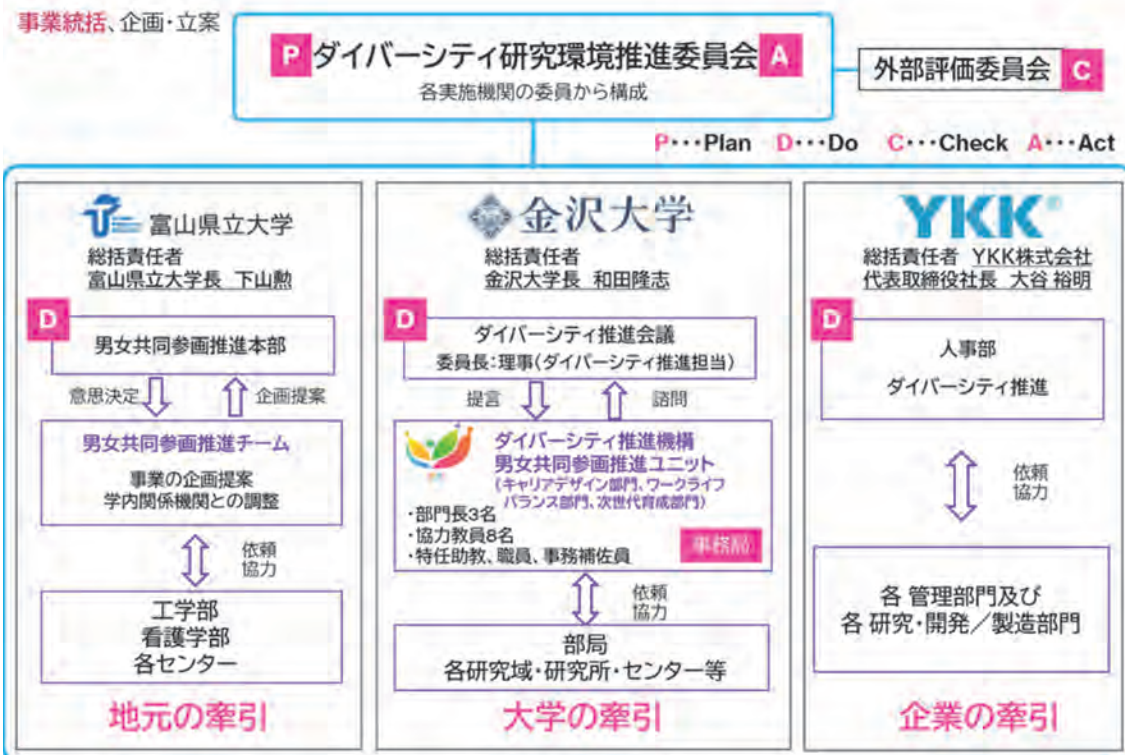
## 3. 女性研究者の上位職登用促進のための基盤づくり

- 管理職や研究者対象のダイバーシティ意識啓発のためのセミナー
- 教員人事会議への女性委員の参画

## 4. 女性研究者採用比率の向上

- 部局別女性採用比率目標の達成
- 女性限定公募
- クロスアポイントメント制度を利用した女性研究者の採用

# 実施体制



※報告書内の組織名称は作成当時のものであるため、所属名などは現在と異なる可能性があります。

1  
北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

2  
女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

3  
女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり

4  
女性研究者  
採用比率の向上

各機関における  
その他の取組

1

北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

## 金沢大学

150年の歴史を持つ北陸地域の基幹的総合大学であり、平成21年度には、角間キャンパスへの総合移転が完成し、広大なキャンパスにおいて自由な学びの場を提供している。平成20年度に従来からの学部学科制を、人間社会学域、理工学域及び医薬保健学域の3学域へと改組し、より柔軟で自在な学びを実現している。令和3年度には融合学域を新たに設置し4学域体制となり、幅広い分野への深い理解力を備え、知識基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材を育成している。

平成13年に男女共同参画推進委員会を設置、平成20年に男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを設置し、多くの取組を行っている。令和4年には男女共同参画キャリアデザインラボラトリーをダイバーシティ推進機構に改組し、包括的なダイバーシティ教育研究環境の実現を目指している。

2

女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

## 富山県立大学

平成2年に日本海側屈指の工業集積を背景に、富山県立の工学系大学として開学し、今日まで教育、研究、地域連携を積極的に推進して実績を上げ、就職に強く、また研究力の高い大学として高く評価されている。県民や産業、社会の期待に応え地方創生の一翼を担ってさらに飛躍していくため、平成27年に公立大学法人となった。また平成31年には、看護学部を開設し、医療・看護分野においても有用な人材を育成している。

平成29年、男女共同参画推進本部を立ち上げ、ダイバーシティ研究環境実現に向けた取組を推進している。

3

女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり

## YKK株式会社

創業以来、80年以上にわたりファスナー等のファスニング商品を製造・販売しており、YKKグループは、企業精神である「善の巡環」のもと、「更なるCORPORATE VALUEを求めて」を経営理念に掲げ、「公正」であることをあらゆる経営活動の行動指針として事業活動を行っている。

社内での女性活躍推進の活動は平成10年にスタートし、活躍のための土壌作りを行い、リーダー候補者に対して中長期キャリア形成のための教育など、多くの取組を行ってきた。

4

女性研究者  
採用比率の向上

各機関における  
その他の取組

# 1 北陸地域におけるダイバーシティ研究環境整備の牽引

## Hokuriku Women Researchers' Network (HWRN/ホウルネット)の継続と発展

北陸地域の高等教育機関、公設試験研究所、企業等からなる、北陸初の女性研究者ネットワーク Hokuriku Women Researchers' Network (HWRN/ホウルネット)を通じて、取組を北陸地域全体に波及させることにより、女性研究者・技術者の育成と活躍を牽引しています。

今年度は、本事業取組普及のプラットフォームである HWRN 連携機関の責任者（人事，男女共同参画担当）で構成される普及促進会議を，メールによる書面附議およびオンライン会議にて2回開催し，HWRN の運営や取組の方針について議論を行いました。



## ダイバーシティ研究環境推進委員会の開催

金沢大学，富山県立大学，YKK株式会社の事業責任者等で構成する，ダイバーシティ研究環境推進委員会を設置，開催し，事業全体の運営の方針などを議論・決定しました。

今年度は，メールによる書面附議を2回，オンライン会議を2回，対面会議を1回開催し，各機関の事業進捗状況の情報交換や，今後の事業推進について議論を行いました。

## ダイバーシティ研究環境推進シンポジウム

日時 令和4年12月23日(金) 15:00~17:30

形式 オンライン開催

12月23日「ダイバーシティ研究環境推進シンポジウム」を開催し，教職員，学生，市民ら約70名が参加しました。

シンポジウム前半では，和田隆志学長による開会あいさつの後，文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室長の岡 貴子氏による来賓あいさつがありました。続いて，本学，富山県立大学およびYKK株式会社の三機関から本事業の6年間の実績報告を行い，その後外部評価委員の行木 陽子氏から本事業の講評がありました。

シンポジウム後半では，ダイバーシティ研究環境形成に貢献した教職員等および優れた女性研究者を表彰するために創設した「ダイバーシティ顕彰」の授賞式を執り行いました。受賞者を代表し，人間社会研究域人間科学系の高橋涼子教授が「私が出会った2つの言葉～“The personal is political”と“Nothing about us without us”～」と題し，自身の教育研究活動を通じての経験や学びについて講演しました。

参加者らは，本学のダイバーシティに関する現状や課題を認識するとともに，より広いダイバーシティ研究環境の実現に向けて意識を新たにしました。



1 北陸地域におけるダイバーシティ研究環境整備の牽引

2

女性研究者の研究力向上とそれを通じたリーダー育成

3

女性研究者の上位職登用促進のための基盤づくり

4

女性研究者採用比率の向上

各機関におけるその他の取組

# 1

## Program

- 15:00 - -----  
開会挨拶／金沢大学長 和田 隆志
- 15:05 - -----  
来賓挨拶／文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室長 岡 貴子 氏
- 15:10 - -----  
ダイバーシティ事業 6年間の歩み／金沢大学・富山県立大学・YKK株式会社
- 15:55 - -----  
外部評価委員講評／中央大学特任教授・足利銀行社外取締役 行木 陽子 氏
- 16:10 - -----  
休憩
- 16:25 - -----  
金沢大学ダイバーシティ顕彰授賞式
- 16:55 - -----  
受賞者代表講演
- 17:25 - -----  
閉会挨拶／金沢大学ダイバーシティ推進担当理事・副学長 山岸 雅子



シンポジウムの様子



受賞者を代表して講演する高橋教授

# 2

北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

# 3

女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

# 4

女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり

女性研究者  
採用比率の向上

各機関における  
その他の取組



## ワークショップ

女性研究者・技術者および学生を中心に、その他研究や技術開発に携わる関係者だれもが参加できる研究ワークショップを開催しました。この研究ワークショップは、金沢大学および富山県立大学とYKK株式会社、HWRN 連携機関をはじめとし、他機関、異分野の女性研究者と研究交流を通じて、研究者同士の連携を促進し、共同研究のスタートにつなげることを目的としています。

### 令和4年度HWRNワークショップ「女性研究者等研究支援制度成果報告会」

日時 令和4年7月22日(金) 13:30～15:00

形式 オンライン開催

令和3年度に女性研究者等研究支援制度に採択された4組が研究発表を行い、多岐にわたる発表毎に活発な質疑応答が行われ、異分野交流の有意義な機会となりました。

## Program

13:30 - 13:35 -----

開会挨拶 和田 隆志 (金沢大学長)

13:35 - 13:55 -----

*Bacteroides fragilis* の薬剤耐性機序と耐性確認試験に関する研究

\*坂井 優喜子 (金沢大学附属病院検査部)

13:55 - 14:15 -----

粘土地盤における鋼矢板を用いた洋上風力発電設備基礎の挙動に関する研究

\*熊 曦 (金沢大学理工研究域地球社会基盤学系)

14:15 - 14:35 -----

IgG4 関連血管病変の血管濾胞内の T 細胞亜分画の解明

\*笠島 里美 (金沢大学医薬保健研究域保健学系)

小林 雅子 (金沢市立病院)

石山 進 (金沢市立病院)

14:35 - 14:55 -----

Glyoxalase1 の転写発現調節機構の全貌解明

\*原島 愛 (金沢大学医薬保健研究域医学系)

田中 亜紀 (富山大学学術研究部薬学・和漢系)

14:55 - 15:00 -----

閉会挨拶 山岸 雅子 (金沢大学ダイバーシティ推進担当理事)

## 研究パートナー制度

出産・育児・介護で多忙な女性研究者の研究活動の支援として、研究データ解析、学会発表資料作成、実験補助、文献調査及び統計処理等の研究補助業務を行う研究パートナーの雇用経費を助成しています。平成29年度より、研究を補助することにより研究パートナー自身のスキルアップ・キャリアアップを目指す研究パートナー制度（養成型）と、女性研究者の研究教育業務を補助する研究パートナー制度（支援型）を設けました。

### 令和4年度 支援実績

#### 金沢大学

前期：10件（利用者10名，パートナー10名）

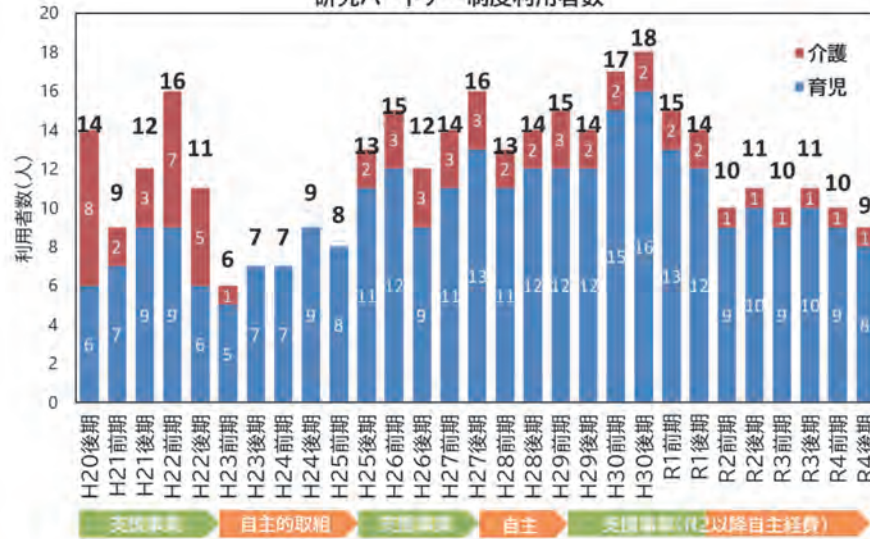
後期：9件（利用者9名，パートナー9名）

#### 富山県立大学

前期：4件（利用者4名，パートナー3名）

後期：5件（利用者5名，パートナー3名）

研究パートナー制度利用者数



## 女性研究者等研究支援制度

女性研究者等研究支援制度による研究費支援を通じ、女性研究者等の出産・育児等による研究中断からの復帰を支援し、また研究活動のスタートを支援することによって女性教員の応募・採用を増加させ、更に女性研究者同士のネットワークを広げることにより、女性研究者の研究力向上を図ることを目指しています。

### 令和4年度 採択実績

復帰支援部門：1件

スタートアップ部門：2件

ネットワーク構築部門：2件

## 出産・育児支援

### はあざみルーム

妊娠中や体調がすぐれない場合の女性職員・女子学生の休憩や、乳幼児への授乳、搾乳、おむつ替え及びイベント開催時における保育室等のために利用できる「はあざみルーム」を角間キャンパスに設置しています。

### 試験時臨時託児室

令和5年1月14日（土）～15日（日）の大学入学共通テスト時に、臨時託児室を角間キャンパスに設置し、教職員5名（幼児・児童7名）の利用がありました。

### 病児保育室

金沢大学附属病院内に、病児保育室「たんぼぼルーム」が設置されています。

### 夜間・日曜保育室

金沢大学附属病院内の、夜間・日曜保育室「きらきらぼし」は病院関係者以外の本学教員等も利用可能です。

### 休日学童保育

平成30年10月より、金沢大学附属病院にて、附属病院で勤務する職員のお子さんを対象として日曜日に学童保育を設置しています。

### 多目的ルーム

令和元年度より、鶴間キャンパスに、保育などを行える多目的ルームを設置しました。

### ベビーシッター利用料金割引事業

仕事・子育て両立支援策の一環として、ベビーシッター利用料金の一部を助成する、ベビーシッター利用料金割引事業を実施しています。本事業は内閣府の委託を受け公益社団法人全国保育サービス協会が実施している「ベビーシッター派遣事業」を利用して行うものです。

1

北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

## 金沢大学人材バンク

平成20年度から運営している「金沢大学人材バンク」を普及し、研究機関の女性研究者支援活動の充実を図りました。人材バンクのさらなる普及のため、SNSなどによる広報も強化しています。

令和4年度 活用実績

登録者数：143件



2

女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

## 研究写真展 Beauty in Science

科学の美しさに広く関心を持ってもらうことで、女性の理系分野への進学につなげる普及啓発活動の一環として、女性研究者が研究の際に遭遇した一瞬をとらえた写真を美しいパネルに仕上げ展示する研究写真展「Beauty in Science」を開催しました。



キャンパスビジットでの展示の様子

3

女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり

令和4年度 展示

### 金沢大学

- ・令和4年10月2日(日) 金沢大学秋季対面型キャンパスビジット(令和4年度新作展示)
- ・令和4年10月11日(火)～31日(月) 金沢大学中央図書館ギャラリーα

### 富山県立大学

令和4年3月4日(土) 富山県立大学射水キャンパス 中央棟アカデミックモール

4

女性研究者  
採用比率の向上

各機関における  
その他の取組

# 2 女性研究者の研究力向上とそれを通じたリーダー育成

1  
北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

## 金沢大学ダイバーシティ顕彰

令和4年度より、優れた女性研究者を顕彰する「はあざみ女性研究者賞」にダイバーシティ研究環境形成に貢献した教職員等を顕彰する「かいのきダイバーシティ推進賞」を加え、「金沢大学ダイバーシティ顕彰」として発展させました。

皆が能力を最大限に発揮できるダイバーシティ環境への理解や取組の推進、優れた業績を挙げた女性研究者や女性研究者育成に貢献した者を顕彰することにより、当該女性研究者自身とこれに続く若手女性研究者の励みとし、研究意欲の向上につなげ、もって、本学の教育研究の将来を担う女性研究者の育成等に資することを目的とするものです。

2  
女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

### 令和4年度受賞者

- ◆かいのきダイバーシティ推進賞 緑陰賞  
医療法人社団明徳会／学校法人十全青翔学園 臼井 溢 理事長／学園長
- ◆かいのきダイバーシティ推進賞 彩果賞  
金沢大学設計製造技術研究所 浅川 直紀 教授
- ◆はあざみ女性研究者賞 中村賞  
金沢大学人間社会研究域人間科学系 高橋 涼子 教授
- ◆はあざみ女性研究者賞 紫花賞  
Y K K株式会社テクノロジー・イノベーションセンター シニアエンジニア 小林 尚子 氏
- ◆はあざみ女性研究者賞 若葉賞  
金沢大学環日本海域環境研究センター 石野 咲子 助教  
金沢大学ナノ生命科学研究所 岡本 和子 特任助教  
富山県立大学看護学部 北島 友香 助教  
Y K K株式会社テクノロジー・イノベーションセンター エンジニア 三村 茉莉絵 氏

3  
女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり



「ダイバーシティ顕彰」の受賞者らの記念撮影

4  
女性研究者  
採用比率の向上

各機関における  
その他の取組

# 1

## 産学連携講座

金沢大学大学院博士後期課程に設置されたYKK株式会社との連携講座を核とし、富山県立大学を含めた共同研究のマッチングと推進、女性技術者の学位取得支援、国際会議開催支援などを行い、研究力向上を目指します。

# 2

## 共同研究支援

昨年度から共同研究を行っている3組が審査の上、共同研究を継続しています。また、共同研究の足掛かりとして、金沢大学とYKK株式会社の間で技術指導を1件行っています。三機関の関係者が参加する共同研究成果報告会をオンラインで開催し、令和3年度採択者による研究発表が行われました。

### 令和4年度 実績

継 続：金沢大学⇄富山県立大学 3件  
技術指導：金沢大学⇒YKK株式会社 1件

# 3

## 女性研究者を対象としたリーダー育成支援

上位職登用につながる研究能力、マネジメント能力等の向上を目指し、国際シンポジウム開催支援、外部研修の受講支援、セミナー開催、技術的集合研修などを行っています。

### 令和4年度 実績

金沢大学 女性研究者国際シンポジウム開催支援：1件  
女性研究者リーダー育成研修支援：1件  
女性研究者インターンシップ支援：1件  
富山県立大学 科研費申請書支援セミナー開催：1件

# 4

各機関における  
その他の取組

# 3 女性研究者の上位職登用促進のための基盤づくり

## ダイバーシティ管理職研修・研究者対象セミナー

### ダイバーシティ管理職研修(金沢大学)

日時 令和4年11月18日(金) 13:15~14:00

会場 金沢大学角間キャンパス本部棟6階 大会議室

講師 渡辺 美代子 氏

(科学技術振興機構 シニアフェロー/NPO法人ウッドデッキ 代表理事)

本学管理職を対象に「ダイバーシティ管理職研修」をオンラインにて開催し、学長、理事、部局長等の管理職86名が参加しました。研修では、科学技術振興機構シニアフェローの渡辺美代子氏から、「性差重視で研究の質向上を目指す一女性の活躍推進とイノベーション」と題し、世界と日本のジェンダーイノベーションの現状や、性別を起点とした多様性の意味について講演がありました。研修を通して、これからの進むべき大学の方向性や女性の活躍推進を改めて確認する機会としました。

### キャリアデザインを描くための“にじいろ研修”上司向けセッション(YKK株式会社)

日時 令和4年6月23日(木)

会場 オンライン開催

内容 働く女性を取り巻く現状と課題

キャリア開発の重要性と考え方

女性社員のキャリア開発支援と動機付け

講師 Official Creation 代表 國弘 隆子 氏

### キャリアデザインを描くための“にじいろ研修”(YKK株式会社)

日時 令和4年7月12日(火)~7月13日(水), 令和4年9月16日(金)

会場 YKK黒部事業所 50ビル/オンライン開催

内容 自己理解

先輩社員との座談会

受講者間での情報交換

コミュニケーションスキルのインプット

講師 Official Creation 代表 國弘 隆子 氏

先輩社員や他部署の女性社員との交流を通じて、長期のキャリアビジョンを描くヒントを得られる研修となりました。また、仕事上で実践できるコミュニケーションスキルも習得できました。また、実施半年後に本人及び上司向けにそれぞれフォローアップ研修も実施しました。

## 教員人事への女性委員の参画

金沢大学では教員人事会議へ女性委員が参画することで、多様な視点を取り入れた教員評価を行っています。

## 管理職登用

管理職に女性を登用しています。

金沢大学 女性理事

富山県立大学 女性キャリアセンター長 女性看護学部長 女性看護学科長

1  
北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

2  
女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

3  
女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり

4  
女性研究者  
採用比率の向上

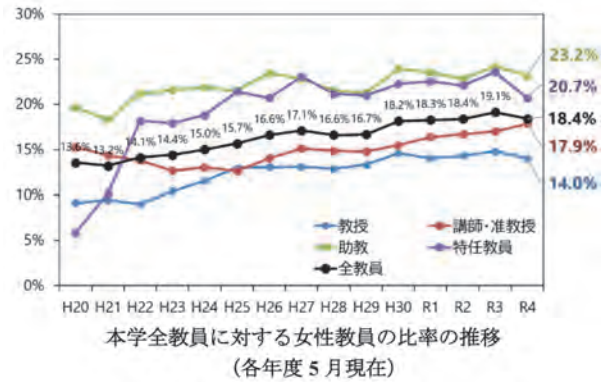
各機関における  
その他の取組

# 4 女性研究者採用比率の向上

1

北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

本学全教員に対する女性教員数は上昇傾向であるものの、さらに女性教員数を増加させるため、以下の取組を実施しています。



2

女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

## 部局別採用目標の策定と更新

意欲的な女性研究者の採用比率の向上のため、部局別採用目標を設定しています。令和4年度より、本学や日本全体の目標達成状況に則し、各部局において女性教員採用及び上位職登用に係る行動目標・行動計画を策定しました。

3

## 女性限定公募

女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性限定公募を行いました。

### 女性限定公募件数

金沢大学 平成29年4月～令和5年1月

理工研究域 47件(公募中1件, 6名採用)

人間社会研究域 7件(6名採用)

ナノ生命科学研究所 1件(1名採用)

設計製造技術研究所 1件(公募中1件)

環日本海域環境研究センター 1件(1名採用)

新学術創成研究機構 1件

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー 2件(1名採用)

ダイバーシティ推進機構 3件(3名採用)

富山県立大学 令和2年4月～令和5年1月

工学部 26件(10名採用)

## クロスアポイントメント制度

金沢大学では、他機関との協定に基づき、相手機関の職員としての身分を有する者が本学の業務に従事するクロスアポイントメント制度を用いて、企業等の優秀な女性人材を教授、准教授として採用しています。

4

女性研究者  
採用比率の向上

各機関における  
その他の取組



## 各機関におけるその他の取組

### 女子中高生への理系進路選択啓発(金沢大学)

女性研究者のすそ野拡大に向けて、女子中高生に理系への興味や理解を深めていただくための実験イベントや講演会を開催しています。今年度は金沢大学 Web キャンパスビジットへのコンテンツ提供を行いました。

### 金沢大学ダイバーシティ推進機構次世代育成部門キックオフセミナー

#### 「理工系に女性が少ないのはなぜなのか」

日時 令和4年12月8日(木) 15:00~15:55

形式 オンライン開催

ダイバーシティ推進機構次世代育成部門のキックオフセミナーをオンラインにて開催しました。大学教職員を中心に、約70名にご参加いただきました。金沢大学人間社会研究域人間科学系 一方井 祐子 准教授から、「理工系に女性が少ないのはなぜなのか」と題し、理工系に女性が少ない理由として考えられる様々な要因について、データに基づく分析結果をご説明いただきました。参加者からは「理系に進学し研究をしてくれる学生・研究者を増やすために何に取り組むべきかがある程度明確になった」、「様々なデータやインタビュー結果など、エビデンスをもとにお話いただいたので、非常に納得感があった」などの感想が寄せられ、理工系に進学する女性を後押しする取組について考える機会となりました。

### 金沢大学女性研究者支援“はあざみ基金”

女性研究者一人一人がその個性と能力を充分に発揮できる環境を整備するために、「女性研究者支援“はあざみ基金”」を創設しました。女性研究者支援の取組の継続と発展のため、ご協力をお願いします。



基金のWebサイト

1  
北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

2  
女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

3  
女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり

4  
女性研究者  
採用比率の向上

各機関における  
その他の取組

1

## 女性教員・女子学生の増加(富山県立大学)

富山県立大学では、男女共同参画推進本部及び男女共同参画推進チームを設置し、ダイバーシティ研究環境実現に向けた取組を推進しており、女性教員が増加傾向にあります。

また、高校生向け特設サイト等で女子学生の活躍を紹介するなど、女子生徒や保護者に対し、理工系分野の進路選択に向けた積極的な情報提供をおこなっており、女子学生が増加しました。

2

## プラチナくるみん(YKK株式会社)

YKK株式会社では、ライフイベントと仕事との両立を促進し、「プラチナくるみん」認定に至る等、女性社員への支援を進め、育児や介護と仕事が両立しやすい環境構築に向けて取組を進めています。



2016年には、パッシブタウン(富山県黒部市)内でYKKとして初めての事業所内保育所である「たんぼぼ保育園」を開所。長く働き続けることが社会的要請になると同時に、働き方についての意識改革が大きな課題であると認識し、社員の出産後の早期職場復帰や、子育てがハンディとされない多様な働き方を応援するため、社員と社会のニーズに合った保育所運営を進めている。

3



4

北陸地域における  
ダイバーシティ研究環境  
整備の牽引

女性研究者の研究力向上と  
それを通じたリーダー育成

女性研究者の  
上位職登用促進のための  
基盤づくり

女性研究者  
採用比率の向上

各機関における  
その他の取組

## 男女共同参画推進ユニット スタッフ

### ユニット長・キャリアデザイン部門長

長谷部 徳子／環日本海域環境研究センター 教授

### ワークライフバランス部門長

柿川 真紀子／理工研究域生命理工学系 准教授

### 次世代育成部門長

児玉 昭雄／新学術創成研究機構 教授

### ユニット協力教員

眞鍋 知子／融合研究域融合科学系 教授

古畑 徹／人間社会研究域歴史言語文化学系 教授

新井 豊子／理工研究域数物科学系 教授

佐藤 渉／理工研究域物質化学系 教授

森下 英理子／医薬保健研究域保健学系 教授

中島 美紀／ナノ生命科学研究所 教授

滝口 昇／理工研究域フロンティア工学系 准教授

西脇 ゆり／融合研究域融合科学系 助教

### ユニット職員

江口 友佳子／特任助教

福士 美和／ワークライフバランス部門相談員

瀧本 奈々／事務補佐員